

もみじ

—広島県山岳・スポーツクライミング連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 登山教室 (7/23~24 くじゅう連山) 報告
2. クライミングスクール (7/3 三倉岳) 報告
3. ありんこチーム活動 (6/10~12 久住山) 報告
4. 岳連短信 (寄贈御礼、8~9 月の行事予定、写真展案内、インターハイ速報)

1. 登山教室報告

(指導部長 森本 寛)

第 4 回 7/23(土)~24(日)

登山形態: テント泊縦走山行

山城: くじゅう連山

人数: 8 名 (スタッフ含)

今回は九州での山行でした。1 日目は坊ガツルをベースにして大船山~平治岳を登り、2 日目は久住山を登りました。熱中症が心配でしたが無事テントを担いでの行動ができました。(森本)

【感想文】

『2022 年 7 月山行 九重連山』

(登山教室 2 年 李 京子)

くじゅう計画係の昨年度計画コピー作戦は着々と進んでいた。だが残念ながら、時期が異なっていた。真夏の直射日光を避け、初日のロングコースは日陰のあるルートにしようとのリーダーの配慮に心で泣く。半日だけの二日目は、久住山と中岳どっちとの試行錯誤も経て、クジュウの計画案で上がる。

7月22日(金)夜8時前、広島駅北口を出発。今回初めてレンタカーでの遠征。23日2時前、長者原ビジターセンターに到着。仮眠をとる。暗い深夜も早朝も機敏

な山人たちに引きずられながら、原っぱの駐車場に出ると、朝靄の中にラクダのこぶが浮かんでいて足が止まる。三俣山だった。寝ている間に異国に来たかのような錯覚を覚えながら、登山計画書を投函し、朝6時半出発。まず目指すは坊ガツル。苔むす原生林を抜けると、湿原の平野に木道が伸びていた。雨ヶ池一帯も草叢だったが、花の時期はどんな光景だろう。三俣山を時折右手に確認しながら平坦な自然歩道を歩いていると、さらに視界が開け、その先にテントが点在する坊ガツルの大草原が見えた。右手山裾には名だたる法華院温泉。まるで新しき村に入るかのような心持ちだったが、何の手続きも経ずして思い思いの場所にテントを張る。すでに寛ぎ昼寝している人もいるが、登山教室はこれからが本番である。図らずも右手に大船山、左手に平治岳が堆く迫っている。身だしなみを整えまずは大船山を目指す。幸い荷が軽く心も軽い。さすが火山かと足元の赤い軽石に見惚れているうちに段原に着く。そこから一段高く聳えているのが大船山だった。見晴らし良く、水のない御池も見える。山頂に着いたのはちょうど正午だったが、弁当はありません。先を急いで段原まで一旦下り、尾根沿いに平治岳を目指す。ミヤマキリシマがそれにしても一面に群生していて、狭い登山道を圧迫している。花の時期にはなるほど圧巻だろう。深い山に咲く躑躅という意味で、1909年牧野富太郎による命名と知り、改めて感激する。平治岳に続く深い鞍部・大戸越への下りはガレ場が多く、歩きにくかった。またこの日は蒸し暑く、普段よりよく水を飲んだ。水分塩分を十分補給してなお足が攣りかけた一員あり、足の筋に対してふくらは

ぎを垂直に揉む応急マッサージが施された。方法を誤ると却って逆効果だと教わる。かくして鞍部まで完全に下る。ここから見上げる平治岳は高かった。ミヤマキリシマの群落が日光を反射している。夕方から雨との予報もあり、急登を前に気合を入れる。何度か偽ピークに騙されながらも頂上に立った。坊ガツルからくらくらするほどの高さに仰ぎ見た二峰を制覇し、爽快感ひとしおだった。下りは足取り軽い。テントに戻り、ビールの買い出しついでに憧れの温泉に入る許可も得て、皆で楽しい野外の食卓を囲む。この夜は満天の星は拝めず、小さいテントに籠りはしたが、四面山なる坊ガツル。広大な空のもと、山に抱かれるようにして草原に横たわった夜の感動は今なお忘れ難い。

二日目朝は起床3時半、5時出発。鳴子川を渡り、法華院温泉の間を抜けて、諏蛾守越下を目指す。ここからは登る毎に七変化の景色だった。途中、背中に朝日を浴びる。岩場を登り切った所は平原だった。森林限界でもないようだが木はなく、兵どもが夢の跡のような荒涼とした風景。諏蛾守越に辿り着いたところで、スタッフ一部が下山口に車を回す準備のため離隊される。その辺りからケルンの道標に導かれた先に、久住分かれ方向にガレ場の登りが続く。久住分かれは稜線上の左に中岳、右に久住山の鞍部のようでもあった。真っ青な空に朝の空気が澄んでいて、登ってきた方角の先には由布岳、反対側を見ると阿蘇山まで見渡せる。登山者の姿も急に増えた。時計を見ると、計画より1時間以上早い到着。「山と高原地図」コースタイムを基準に、歩荷ありは1.2倍で計画してみたが、同じ山域でも部分的に基準が異なるようで、首を傾げた。ここから久住山を目指してさらにガレ場を登る。朝8時過ぎ、久住山登頂。360度パノラマビューだった。中岳も見える。稲星山経由で縦走もしてみたかったし、時間的に問題もなさそうだったが、計画係の時間配分が検討不足だったようで至極残念だった。予定通り下山を急ぐ。目指すは牧ノ戸峠。このルートがもっとも一般的な日帰りコースのようで、好天のもと行き交う登山者も多く、実際、岩場あり起伏に富んで楽しかった。一般ルートでは、地図上のコースタイムが時にゆったりとられていることも学んだ。右手には山頂まで緑色の星生

山。これもいつか登ってみたい。九重にリピーターが多いという理由が少しわかった気がした。この日は20kgの歩荷に挑戦。坊ガツルの水が土産になって良かったが、今年度目標とする9月剣岳遠征に向けてさらに準備を重ねたい。帰りは温泉にも食堂にも入り、ハイエースの運転もして、初体験だらけの九重だった。

いつも最大のサポートを惜しまないスタッフと良き仲間たちに、心から感謝したい。

(写真提供 森本)





2. クライミングスクール報告

(指導部長 森本 覚)

第 4 回 7/3(日)

山城：三倉岳 炊事棟～源助崩れⅡ峰

人数：20 名 (スタッフ含)

集合時には小雨の為、炊事棟にてロープワークを行いました。10:30 頃より晴れ間も出てきたので源助崩れⅡ峰まで登り アーナンダⅡチムニーまで 十六夜テラスまで 白昼夢 左 なごみスラブ 色は匂えど(チムニースタート)の 5 本をトップロープで登りました。(指導部 塩田 徹)

【感想文】

『技術の習得』

(受講生 法崎 正和)

3 年前に登山を初めてたのをきっかけに、昨年からはクライミングもチャレンジしてみようとスクールに応募しましたが定員オーバーで断念。

その後、昨年は某ジムで知り合った方をお願いして、約 1 年を通して 10 回程度岩場に連れてって頂きました。

なんとなくこれがクライミング？って感じで三倉岳メインで練習。「なんとなく」登れる力は継続して練習すれば、それなりに上達すると思いました。ただ、何が危なくて何が正しいのかも「なんとなく」でした。

今回で 4 回目のスクール。毎回得る事は多く大変勉強になります。まずは安全に、事故無く登れる技術を習得する事の大切さを改めて毎回実感しております。残り 4 回しかありませんが、しっかり学び身につけて行きたいと思えます。

スクール開催にあたり、講師の方々には感謝しかあ

りません。三倉岳と言う場所を、守り続けてくださっている方々にも同様です。この場をお借りして、本当にありがとうございます。残り 4 回ですが、引き続き宜しくお願い致します。

追伸 4 回目のスクールは、あいにくの雨予報。最初はロープワークの講習でしたが、雨も上がってきたので岩場にて練習でした。

『クライミングスクール第 4 回目』

(受講生 前田 一敏)

クライミングスクールも 4 回目となり、先生方や受講生の顔も覚え始めにあった緊張感から程よい緊張感と変化してきました。雨天のため当初の予定と違いましたが、雨が止み先生方の機転によりロープワーク後、源助崩れⅡ峰まで行きました。

事前に、ロープワークについて連絡があり教本と YouTube を参考に自宅で練習しましたがやはり、真剣さが足りずフィールドでは先生方と相棒に迷惑をかけてしまいました、安全管理に必要な知識を踏まえ教えて頂き実感が湧きました、高度感がある所でもとっさに出来るよう繰り返し練習し身に付けます。

源助崩れⅡ峰では、主にチムニーでの身体の使い方や保持の工夫を指導して頂きました、正直なところスクール当初は緊張もありクライミング用語が分からず返事だけしていましたが、徐々に分かるようになり指導を受けることで課題を登ることができました。と言ってもチムニーでの身体の使い方やホールドを助言していただきながらです。チムニーでは背中中で岩を感じ手で押すようにしながら岩に触れる部分をこねながらひたすら身体を上げていきました。右向き、左向きと身体の向きを変え動きが異なる事を実感しました。身体の使い方は経験を積み上手くなるよう練習して行きたいと思えます。ただ、数ヶ月前の自分を思えばクライミングしている事自体が驚きです、先生に「クライミングっぽくなってきたね」と褒められると大変うれしく調子にのってしまいます。まだ 2 本程で握力がなくなる感じや体力を奪われる感じなのでテンポが悪いのかなと思えます。受講生の仲間もできましたのでクライミングスクールで習った事を週末に安全に気をつ



(写真提供 塩田 徹)

(感想文続き)

けながら復習しています。まだまだ、指導して頂き技術を磨きたいです。引き続きご指導をよろしくお願ひ致します。

3. 個人会員ありんこチーム活動報告

(顧問 岡谷 良信)

【感想文】

『6月10日~12日 九州久住山 キリシマツツジ山行』

(ありんこチーム 平西 美樹)

今回の例会では、ありんこチームで活動仲間のメンバー達に自分の行きたい山を提案し、提案者が計画、情報は収集の宿題をもらい、訳の解らないまま、メンバーに助けられて、九州の名峰久住山&法華院温泉泊で、深山キリシマツツジ山行が実現出来ました。

初めての九州遠征。以前から見て見たかったキリシマツツジ景色。晴れることを祈りながら 10 人乗りレンタカーで向いました。

途中から願いも届かず無情の雨の中、長者原駐車場に到着、女性は車中泊で猛烈な雨音の中で仮眠。

翌朝も天気は回復せず、雨と風の中での出発。8:05 のコミュニティバスを利用して、牧ノ戸峠まで移動。時折、霧の中にピンク色の深山キリシマツツジのピンク透けて幻想的きれいでした。

久住山避難小屋で片時の休憩を済ませて、久住山山頂に。標高が上がるに従い、私の身体は飛ばされそうな強風で、ストックを使いながら慎重に久住山の山頂に向かいました、私の体験した事も無い厳しい気候条件下、ストックの必要性と使い方を試しながらの山行はいい経験になりました。

今回の天気情報は、明日早朝には晴れるとの判断でリーダーは決行。やっとの思いで立てた久住山、予定を取り止め早々に今日の宿泊、法華院温泉まで下山。ちょっとぬるめの温泉をのんびり、濡れた装備は乾燥室、なんとありがたかったことか。

2 日目は予報通り一転、いい天気、山々のきれいな景色からのスタート。朝が早い事もありちょっと暗い。しっとりとした道を抜けた後は、念願かなって青空に映える山一面のキリシマツツジも見られ、楽しくて、

度々後ろも振り返りながらきれいな光景になごりおしさを感じながら、長者原に下山。

大分名物とり天定食を頂き、温泉で疲れを流し、ワゴン車の運転も経験して無事帰宅出来ました。

自分ではなかなか行けない遠征で、中四国の山々とはまた違う景色が見られ、とてもいい経験になりました。

メンバーの皆さんありがとうございました。



行動報告

6月10日金曜日： レンタカー屋、20:00 20:30 発～九重町（長者原）仮眠

11日土曜日： 長者原コミュニティバス 8:05～ 牧ノ戸峠 8:30～ 久住山避難小屋（雨） スガモリ越え別れ～（風強くなる）～久住山～スガモリ越え別れ～スガモリ越～ 13:00 頃 法華院温泉（泊）のんびり温泉三昧

12日日曜日： 法華院温泉 4:00～ 坊ガツル～大船山～坊ガツル～雨が池越～13:30 長者原 温泉入浴～広島 20:00 着 解散

（写真提供 岡谷）



4. 岳連短信

1. 寄贈御礼

7/18 三原山の会『筆影』No. 509 (8月号)

7/25 福山山岳会『会報』8月号

広島やまびこ会『やまびこ』792

広島山稜会『峠通信』第758号(8月)

広島山岳会『山嶺』第884号(7月)

2. 8～9月の行事予定

8/19～21 国体中国ブロック予選(広島 CERO)

9/27～10/2 第3回連盟写真展(NHKギャラリー)

3. 写真展案内

上の行事予定にも記しましたが、昨年度コロナ禍で中止となった第3回写真展を9/27(火)～10/2(日)にNHKギャラリー(広島市中区大手町のNHK広島放送センター2階)で開催します。

会員の皆さんには別途案内を送付しますが、出展申し込み締め切りを9/9(金)、出展料を1,000円としています。

連盟の80周年記念の一環でもありますので、奮ってご応募ください。

(右は過去2回の写真展ポスター)

4. インターハイ速報

8/5～9に香川県まんのう町の讃岐山脈(笠形山・竜王山・大川山)で開催されたインターハイ登山大会(第66回全国高等学校登山大会)で広島県男子代表校の広島学院が見事優勝しました(女子代表のノートルダム清心は23位)。同校は14年振り4度目の優勝ということです。詳細は次号で報告します。

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。


○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい

第1回
広島県山岳・スポーツクライミング連盟
写真展



会場 NHKギャラリー2F
会期 2019年9月17日(火)～9月22日(日)
9:30～17:30 (最終日は16:30まで)
(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟

第2回
広島県山岳・スポーツクライミング連盟
写真展



会期 2020年8月25日(火)～8月30日(日)
9:30～17:30 (最終日は16:30まで)
会場 NHKギャラリー2F
(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟